

# 平成28年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般    マスタープラン：    3つの挑戦    /    施策番号 1-7

局・課名：    建設局・河川水路課

<b>事業名</b>	<b>内川排水機場維持管理</b>	<b>事業費(千円)</b>	平成26年度決算額	平成27年度予算額	平成28年度要求額	
		120,763	143,878	151,530		
<b>事業概要</b>	<p><b>【目的】</b> 内川水系には、台風や地震などの高潮被害を防ぐための防潮水門がある。この水門を閉鎖した時の降雨により河川水が溢水することを防ぐためのポンプ施設を、常に運転できる状態に維持することを目的とする。</p> <p><b>【内容】</b> 内川排水機場は、昭和60年度に設置された河川管理施設であり、ポンプ施設としてφ1650mm×2台、φ1000mm×1台があり、河川からの導水路設備としては、除塵機やスクリーン等がある。また、これらの設備の制御等を行うための電気設備や平時、停電時を問わず排水ポンプ運転を可能とするための発電設備などもある。 排水ポンプを常に運転できる状態に保つために、年点検1回、月点検6回の保守点検業務を行う。また、その機器が故障しているとポンプ排水が出来ない致命的機器と故障しても排水ポンプが運転できる非致命的機器に区分し、致命的機器は予防保全(故障等する前に整備、更新する)を行う。非致命的機器については、事後保全(故障等したのちに修繕等する)にて対応する。 なお、平成28年度については、設備更新整備工事、施設運転監視点検業務等を行います。</p> <p><b>【今年度要求のポイント】</b> ・高圧受配電設備を25年度に2面、27年度に2面更新工事を行い、28年度に残りの3面を更新する事により、非常に重要で危険な高圧配電盤更新工事は完了します。また、低圧配電盤は全部で10面あります。今回は排水ポンプの運転に直接関係する配電盤2面を更新し、電気設備の信頼性回復に努めます。</p>	<b>債務負担行為</b>	期間	要求額(千円)		
		H ~ H	0			
		<b>主な要求内容</b>		(単位:千円)		
	項目	27年度予算	28年度要求額	内容・積算等		
	設備更新整備工事	76,550	79,000			
	施設運転監視点検業務等	57,428	63,630			
	その他(光熱水費、修繕料他)	9,900	8,900			
	合計	143,878	151,530			
	<b>スケジュール(経過及び今後展開)</b>					
	<p><b>【経過(～27年度)】</b> ・平成22年度 長寿命化計画策定 ・平成25年度 高圧配電盤2面 ・平成26年度 補助継電器盤更新 3面,1号吐出弁整備 1台 ・平成26年度 補助継電器場更新3面 ・平成27年度 補助継電器盤2面、高圧配電</p>		<p><b>【28年度】</b> 高圧配電盤更新工事、低圧配電盤更新工事、長寿命化計画追加業務</p>		<p><b>【今後予定(29年度～)】</b> 平成29～31年 ポンプ施設予防保全(更新・整備)</p>	
<b>その他 特記事項</b>						
<p>みんなの審査会対象外 施設設置後約45年後(平成42年頃)から設備・施設全体の改修工事が必要。 関連事業:</p>						

整理番号： 19 - 3 - 0500